



廃止措置の終了の確認申請書

令和 5年 5月 10日

原子力規制委員会 殿

東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
三菱電機株式会社
執行役社長 漆間 啓

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和32年法律第166号）第57条の5第3項において準用する同法第12条の6第8項の規定により次のとおり廃止措置の終了の確認を申請します。

氏名又は事業所の名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 執行役社長 漆間 啓
工場又は事業所の名称及び所在地	三菱電機株式会社 神戸製作所 兵庫県神戸市兵庫区和田岬一丁目1番2号
使用施設等の解体の実施状況	別紙のとおり
核燃料物質の譲渡の実施状況	別紙のとおり
核燃料物質による汚染の除去の実施状況	別紙のとおり
核燃料物質等の廃棄の実施状況	別紙のとおり

三菱電機株式会社神戸製作所 貯蔵施設及び固体廃棄施設における
核燃料物質の使用に係る廃止措置の終了確認申請書

1. 使用施設等の解体の実施状況

三菱電機株式会社神戸製作所における廃止措置対象施設^(※)では、核燃料物質の譲受、使用、貯蔵の実績及び放射性廃棄物が発生した実績はなく核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物（以下「核燃料物質等」という。）による汚染はなく、廃止措置終了確認後、一般施設として再利用するため、解体の対象となる施設はない。

管理区域及び周辺監視区域の解除として、標識、柵等の撤去を実施した。

撤去した標識、柵の位置を添付書類1の514工場、614工場の敷地内配置図に示す。

※廃止措置対象施設は、平成16年10月1日付16諸文科科第1454号により「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」（以下「炉規法」という。）第52条第1項の使用の許可を受け、その後、最新の変更の許可としては、平成25年7月16日付原規研発第1307162号により使用の変更の許可を受けて現在に至っている次の施設である。

・514工場(炉規法施行令第41条に規定する核燃料物質使用施設) 挿入試験用設備(514工場における使用設備)

・614工場(炉規法施行令第41条に規定する核燃料物質貯蔵施設、固体廃棄施設)

耐火金庫(614工場における貯蔵設備)

廃棄物保管容器(614工場における固体廃棄施設の設備)

2. 核燃料物質の譲渡の実施状況

1項使用施設等の解体の実施状況に記載のとおり、核燃料物質の譲受、使用、貯蔵の実績はなく、添付書類2のとおり核燃料物質の譲渡はない。

3. 核燃料物質による汚染の除去の実施状況

1項使用施設等の解体の実施状況に記載のとおり、核燃料物質の譲受、使用、貯蔵の実績及び放射性廃棄物が発生した実績はなく、令和5年1月20日に汚染サーベイを実施し、添付書類3のとおり測定結果は検出下限以下であり、当該施設における核燃料物質による汚染がないことを確認した。

4. 核燃料物質等の廃棄の実施状況

1項使用施設等の解体の実施状況に記載のとおり、核燃料物質の譲受、使

用、貯蔵の実績はなく、核燃料物質等の廃棄はないことを添付書類2に示す。

5. 放射線管理記録の引渡し

廃止措置期間中の核燃料物質等の移設に伴う放射線業務はないため、放射線業務従事者の放射線管理記録の引き渡しは行っていない。

【添付書類】

- 1 廃止措置対象施設の敷地に係る図面及び廃止措置に係る工事作業区域図
- 2 核燃料物質収支報告書と核燃料物質実在庫量明細報告書
- 3 核燃料物質による汚染検査及び線量当量率測定
- 4 校正証明書

(放射線測定器点検校正報告書)

表面密度測定：GM サーベイメータ

TGS-136 (社内管理用登録番号 24210059)

添付書類 1

廃止措置対象施設の敷地に係る図面及び廃止措置に係る工事作業区域図

(1) 廃止措置対象施設の敷地に係る図面

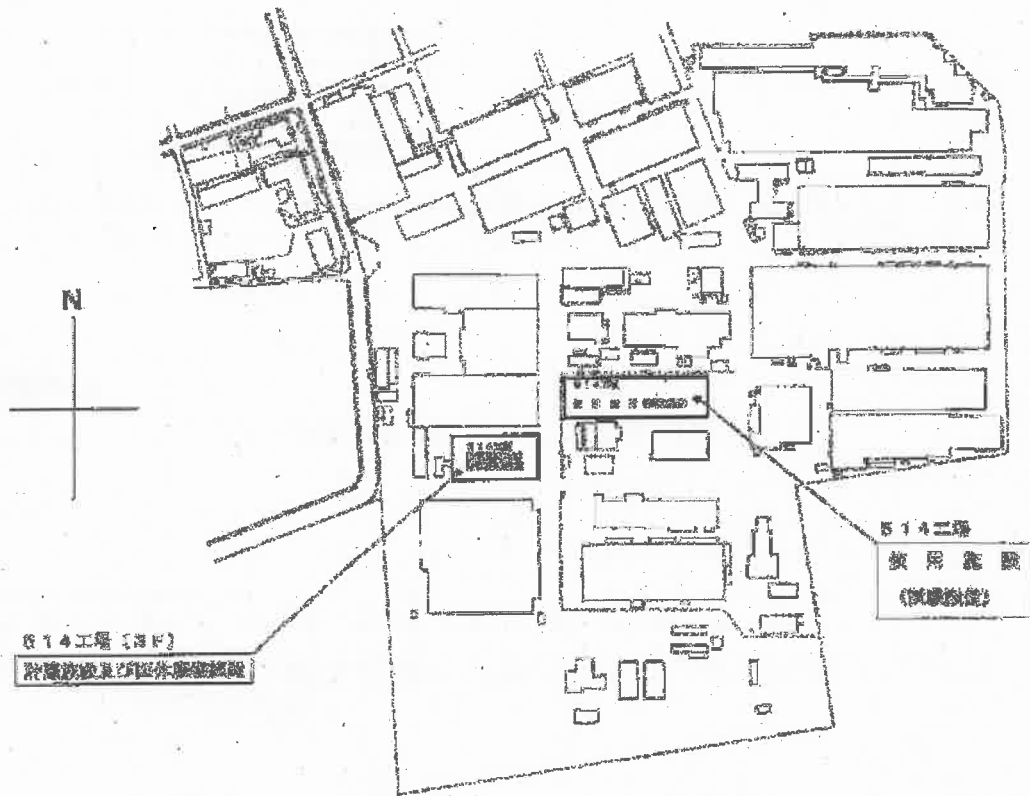
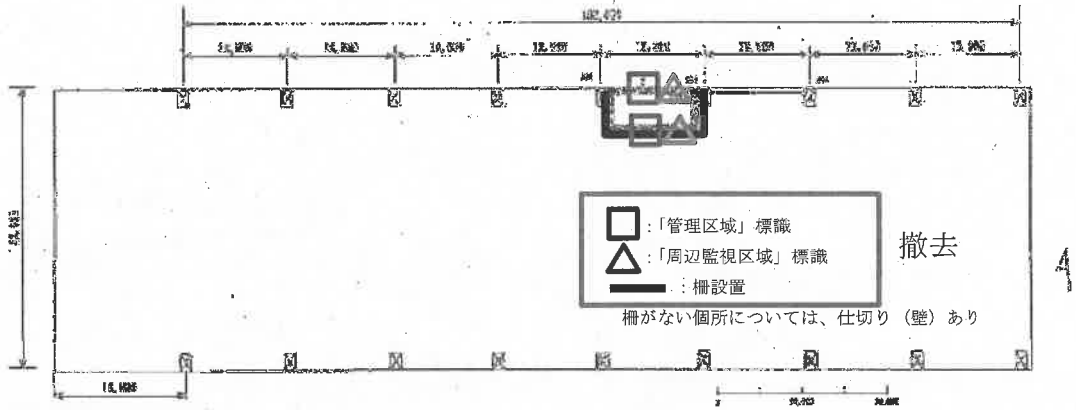


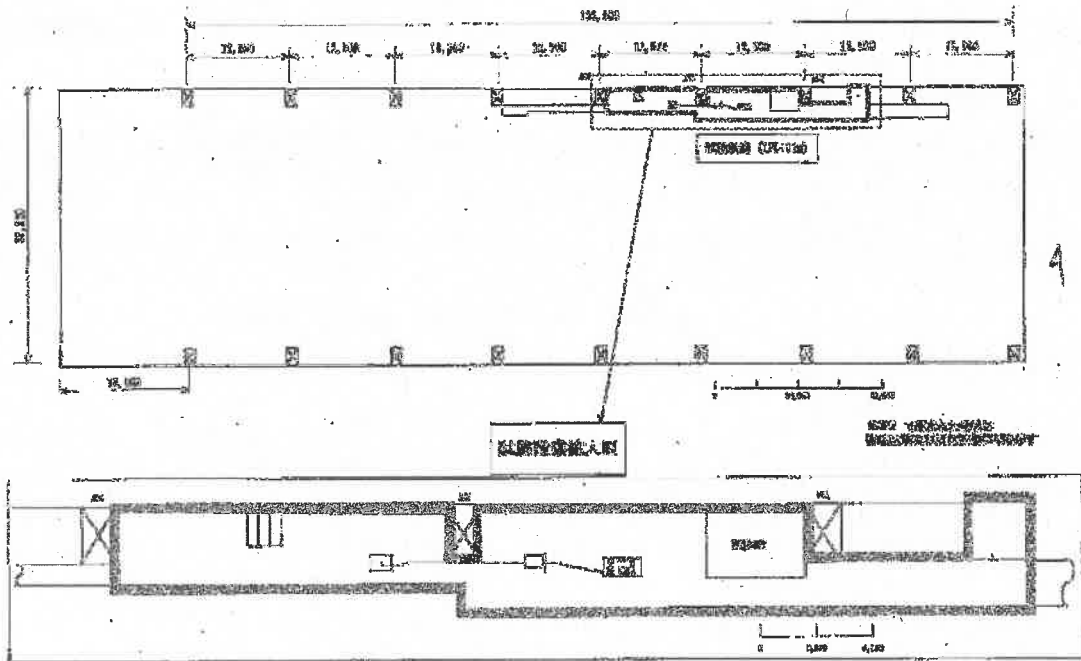
図1 神戸製作所 建屋配置図

(2) 廃止措置に係る工事作業区域図



※この図は、現場の状況と一致しない場合があります。
 詳細は現場の状況と一致しない場合があります。

図2 使用施設 514工場 1FL 平面図



※試験設備がある1F+11mのフロアには、1FLから出入りするのための直接の出入口がなく、標識を設けていない。

図3 使用施設 514工場 1F+11m 平面図

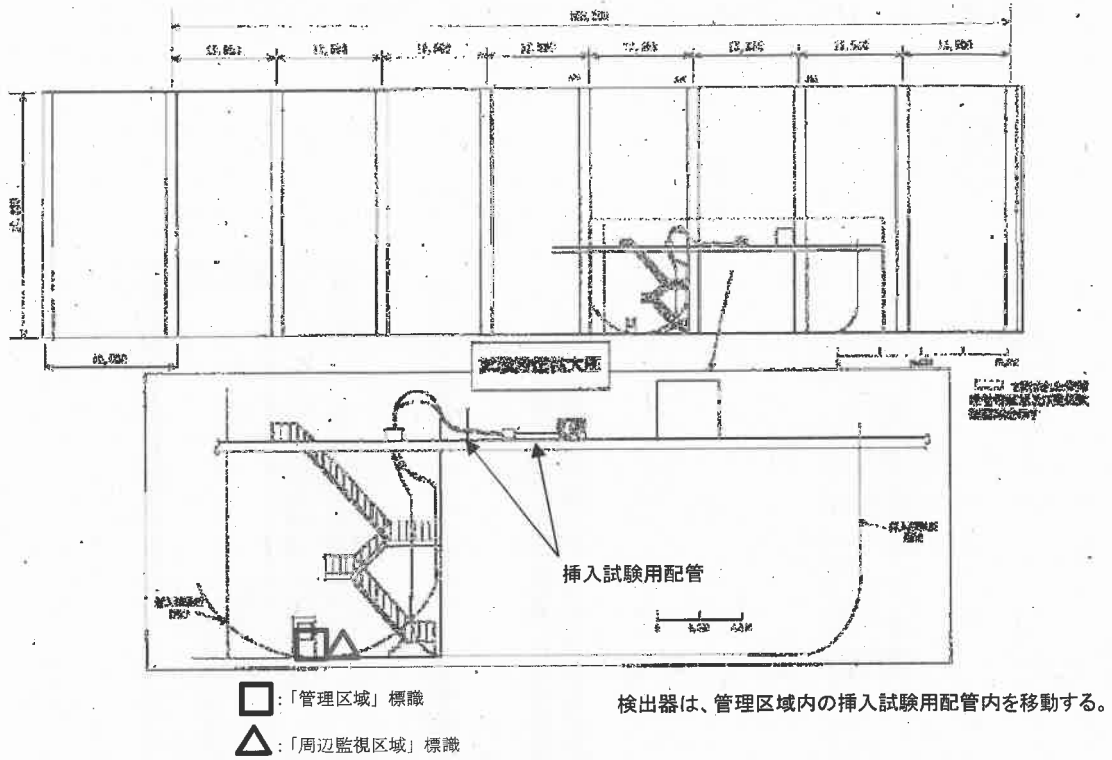


図4 使用施設 514工場 立面図

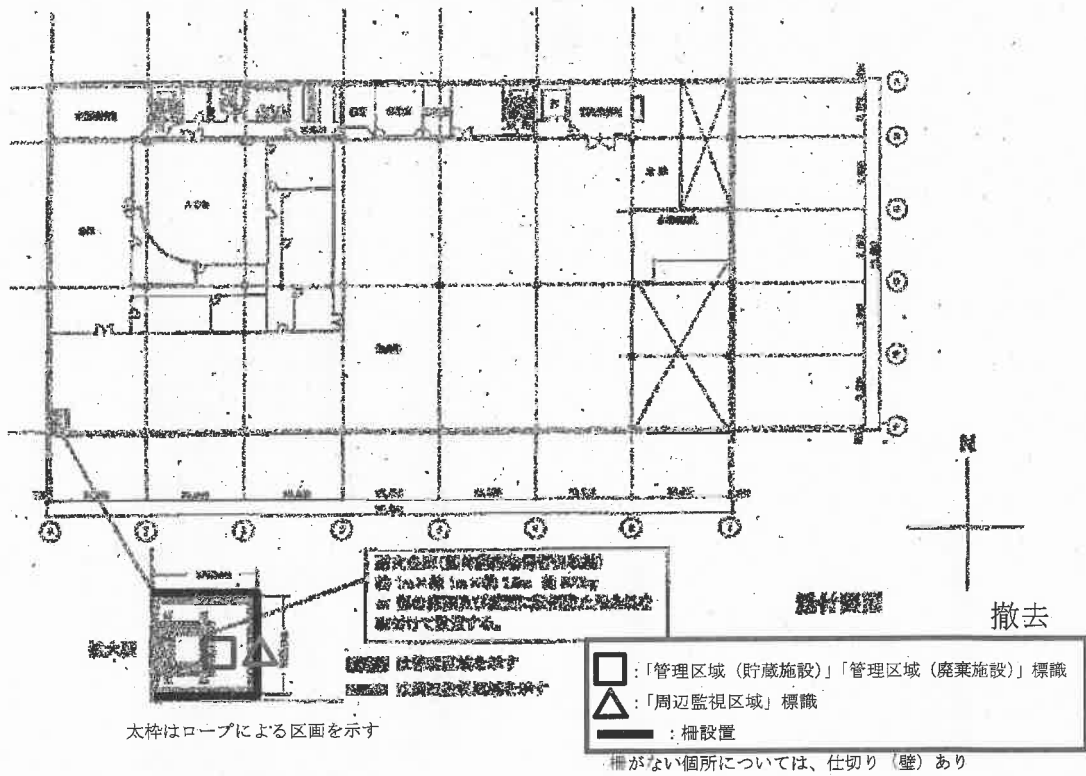


図5 核燃料物質貯蔵施設、固体廃棄施設 614工場 3F平面図

添付書類2 核燃料物質収支報告書と核燃料物質実在庫量明細報告書

正

報告年月日	令和4年10月13日
報告番号	0025

核燃料物質収支報告書

原子力規制委員会 様

住所 東京都千代田区丸の内2丁目7番8号 東京ビル
 株式会社 三菱電機株式会社 執行役社長 藤岡 隆

核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第57条第1項及び同法附則第7条第1項(第19項)の規定により、次のとおり報告します。

工場又は事業所 名	株式会社 三菱電機株式会社	神戸製作所	事業上の 名称	株式会社 三菱電機株式会社 電力部A製作所
所 在 地	神戸市長田区新田町1丁目1番2号	神戸製作所	連絡先 (注4)	神戸市長田区和田崎町1丁目1番2号
取 扱 名	株式会社 三菱電機株式会社	神戸製作所		
核燃料物質計量管理区域の符号	JF-F			
報告対象期間	2022年9月16日から2023年9月30日まで			

注 紙

GENERAL NOTE

工務局建築部		署		署		署		署		署		署		署	
NO.	DESCRIPTION	QUANTITY	UNIT	ESTIMATED PRICE	UNIT PRICE	TOTAL PRICE	REMARKS	DATE	INITIALS	SIGNATURE	DATE	INITIALS	SIGNATURE	DATE	INITIALS
1	IF-FOOD						IF-FOOD ORDER IS NOT REPORTED BECAUSE INVENTORY CHANGE HAS NOT OCCURRED FROM 2008-07-05								
2	IF-FOOD						IF-FOOD ORDER 002007-07-06 TO 2007-07-08 AND ALSO NO INVENTORY ON 2008-07-05								
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
32															
33															
34															
35															
36															
37															
38															
39															
40															
41															
42															
43															
44															
45															
46															
47															
48															
49															
50															
51															
52															
53															
54															
55															
56															
57															
58															
59															
60															
61															
62															
63															
64															
65															
66															
67															
68															
69															
70															
71															
72															
73															
74															
75															
76															
77															
78															
79															
80															
81															
82															
83															
84															
85															
86															
87															
88															
89															
90															
91															
92															
93															
94															
95															
96															
97															
98															
99															
100															



様式第9 (第7条関係)
(その1)

報告年月日	令和4年10月13日
報告番号	0026

核燃料物質所在施設新規報告書

原子力規制委員会 兼

住所 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビル
氏名 三菱電機株式会社 教村俊社長 瀬岡 啓

核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第7条第1項及び国際原子力機関の規制に関する規則第7条第11項(第13項)の規定により、次のとおり報告します。

工場又は事業所 施設	名称 所在地	三菱電機株式会社 神戸市兵庫区和田町1丁目1番2号	名称 所在地	三菱電機株式会社電力サービス製作所 神戸市兵庫区和田町1丁目1番2号
核燃料物質管理区域の符号	名称	三菱電機株式会社 神戸製作所	連絡先 (注5)	連絡員の氏名
核燃料物質の搬入の実施の年月日	符号	J P-Y		
	年月日	2023年9月30日		

添付書類3 核燃料物質による汚染の除去の記録

当該施設は、平成16年に使用の許可取得以降、核燃料物質の譲受、使用、貯蔵の実績及び放射性廃棄物の発生の実績はなく、空間線量、表面密度測定の結果から、施設内に汚染はない。核燃料物質の譲受、使用、貯蔵の実績及び放射性廃棄物の発生の実績はないため、廃止措置対象施設の汚染検査は、施設内部の管理区域境界及び周辺監視区域境界を測定箇所として調査した。また、廃止措置対象施設における設備の汚染検査は、核燃料物質を使用した実績は無いものの、使用目的に基づき核燃料物質を使用した場合において、核燃料物質が付着する可能性のあった箇所を、測定箇所として調査した。

汚染の分布の調査

1. 使用施設、設備について、下記の条件で汚染の有無を確認した。

(1) 実施日：令和5年1月20日

(2) 測定者 原子力部品品質管理課

記録承認者 原子力部品品質管理課（放射線取扱主任者）

(3) 使用測定器

GMサーベイメータ TGS-136（社内管理用登録番号24210059）

(4) 測定箇所

空間線量測定

514工場（測定箇所：8ヶ所）（A-1～A-4、B-1～B-4）

614工場（測定箇所：2ヶ所）（C-1～C-2）

表面密度測定

514工場、挿入試験用設備：（測定箇所：2ヶ所）（D-1～D-2）

耐火金庫（測定箇所：2ヶ所）（E-1～E-2）

廃棄物保管容器（測定箇所：1ヶ所）（F-1）

測定箇所を図1～2に示す。

2. 測定結果

測定結果を表1, 2に示す。

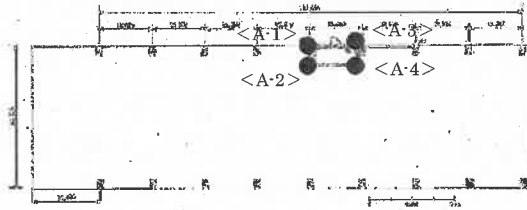
いずれの測定箇所も検出限界計数率以下であった。

検出限界計数率 (cpm)	BG係数率 (cpm)	時定数（試料） (min)	時定数（BG） (min)
72.46	61	0.167	0.167

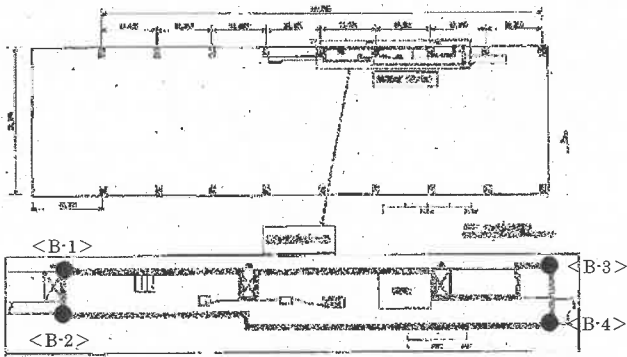
表1 検出限界計数率

測定箇所	514工場										614工場				
	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	B-4	D-1	D-2	C-1	C-2	E-1	E-2	F-1
測定値(cpm)	61	62	61	62	62	63	61	62	63	63	63	63	62	62	63

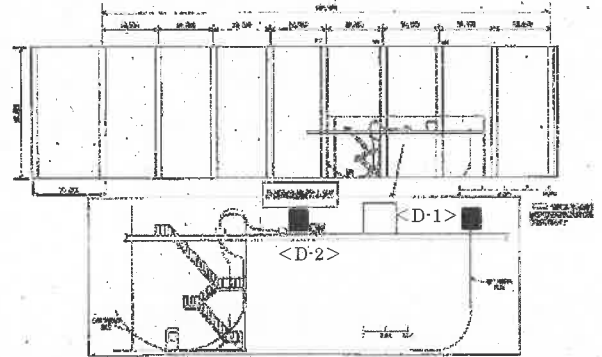
表2 試料測定値



<514工場 平面図 1FL>

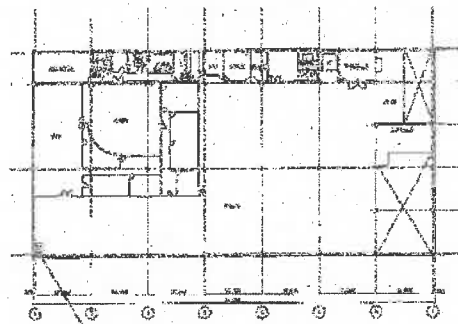


<514工場 平面図 1FL+11m>



<514工場 立面図>

図1 514工場



- <E-1>保管庫表面
- <E-2>保管庫内部
- <F-1>廃棄物保管容器

<C-2>

添付書類4 校正証明書

(放射線測定器点検校正報告書)

表面密度測定：GM サーベイメータ

TGS-136 (社内管理用登録番号 24210059)

GMサーベイメータ

TGS-136

製造番号 R04598(24210059)

ご依頼の理由

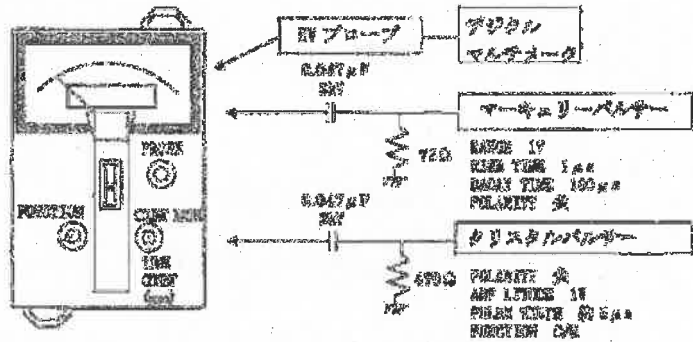
- 点検： 製造番号が表及び校正証明書発行済みである
- 点検： 放射線計測とトレーサビリティのある校正証明書発行
- 点検： JCSの認定事業者の校正証明書発行

検査結果	合格
理由	<input checked="" type="checkbox"/> 放射線に影響を及ぼす原因はありませんでした。 <input type="checkbox"/> 以下に示します欠陥を指摘しました。 <input type="checkbox"/> その他 (ご指摘、ご利用上の注意点等)
修理	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
修理費	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

単体動作・性能点検

機番名	GMサバイブメータ	番 号	TGS-136
		検査番号	R04E98(24310059)

点検要領



区分	点検項目	判定基準	検 査 結 果		判定	備 考
			点検	調整		
1	<p>点検各部の点検</p> <p>サバイブメータ内部、外装の清掃及び各部の点検、ネジの締め、取出部の点検等を点検する。</p>	調整に影響を及ぼす状態がないこと	良	—	合	
2	<p>電源電圧</p> <p>本機を待機状態とし電源電圧をデジタルマルチメータにて測定する。</p>	4.0V~4.5V	4.12V	—	合	
3	<p>BATTERYチェッカー</p> <p>FUNCTIONスイッチをBATT位置にして確認する。</p>	デジタルマルチメータ内に表示すること	良	—	合	
4	<p>調整後の電圧</p> <p>取出部を取り外しデジタルマルチメータ+高圧プローブを用いて電圧を測定する。</p>	1150±50V 以内	1104.5V	—	合	
検査番号	RL-A0017	検訂番号	02	点検年月日	2025年 2月 10日	
頁 数	1/5		点検担当者			

区分	点検項目	判定基準	規格		判定	備考
			点検	公差		
5	目V子エッジ 目V子エッジスイッチを調整 筒にして調整する。	レッドベルトの探 探中央に接すること	目	—	合	
6	入力感度 PICKUPスイッチを調整 筒にしてマーカトリベ ルサーの位置をサーイ ボータのPICKUP端子より入 力し、ONとアース間にシ ンクコイルを接続して 負バイアス印加し、定め る時の入力感度を調整 する。	—100±0.05% 以内	—100.0±0.05	—	合	
7	表示感度 PICKUPスイッチを調整、 SCALE/AMPEスイッチを ON位置にして、タリメ タルパルサーの位置をP のPICKUPアース端子より入 力し、アナログ表示、デジ タル表示を調整する。	アナログ表示 各レンジは フルスケールに対し ±5% 以内 デジタル表示 入力値に対し ±5% 以内	目	—	合	デジタル表示 は調整済
8	立ち上がり 調整筒にて調整して、 SCALE/AMPEスイッチを、 ON位置にしてデジタル 表示を調整。	500±0.000% 以内	500.0000	—0.0000	合	F.T.O. Meter Start 入力 調整済
9	設定値 指示精度調整筒RANGEを 100kΩに、レート ボータの指示値をフルス ケール値で読み取っておき 入力を変化してフルスケ ールから57%まで指示が変 化するまでの時間をストップ ウォッチを用いて測定す る。	±0.05% 以内 10±0.2% 以内 50±0.5% 以内	57.0±0.05 R.9±0.2 50.0±0.5	—	合	
修理番号 RL-A0017		改訂番号 02	種別	TGS-158		
天 数		8/8	製造番号	RM326(2421000)		

区分	検査項目	判定基準	規格		判定	備考
			点検	調整		
10	燃焼計出力 指示精度を燃焼時の燃焼率1500mm ³ /分とし、入力を60mm ³ /分としたときのトロープ出力偏差を測定する。	0±0.3mV以内	5.00 mV	— mV	合	
11	燃焼圧センサ FRICTORYスイッチをスピードカー検出として調整する。	1mm/100mm	良	—	合	60mm ³ 入力にて。
12	SMプラトー特性 6Vのプラトー特性をスケラを用いて検定する。	プラトー電圧 120V以上 プラトー傾斜 5%/100V以下	300 V	— %	合	燃焼データは 50mm ³ 以内。
13	燃焼動作 サーベイメータを動作状態にして燃焼する。	各スイッチの動作指示の動きに異常の無いこと。	良	—	合	
14	回転計調整 サーベイメータを動作状態にして回転を測定する。	参考値	(点検前) 80.8 rpm	(点検後) 75.8 rpm		
15	チェックソングソーズ値 本体を動作状態とし、チェックソングソーズを射出部に付着し、測定を行う。	0.00mmを記入	(点検前) — mm	(点検後) — mm	—	付着チェックソングソーズのある場合、0.00mm。
16	燃焼油圧調整 25.10cm×15cm燃焼器を使用、検出圧を6cmにして調整する。 本調整装置する場合は燃焼器取りになります。	40mm/cm 以上	良	—	合	本機1の場合は55mm以上。 燃焼器取りデータ参照。
検査番号		RL-A9037	検査番号	02	形 名	TCS-135
頁 数		8/8	図 号		図 号	RD-500 (RD1000)

形 名	TGS-136	製造番号	KL-A0017	改訂番号	02
検定番号	700000(20210000)	頁 数	6/8		

検定結果

レンジ min ⁻¹	基準入力 min ⁻¹	点 検				調 整			
		アナログ min ⁻¹	誤差 %	デジタル min ⁻¹	誤差 %	アナログ min ⁻¹	誤差 %	デジタル min ⁻¹	誤差 %
100	30	30	± 0.0	29.9	- 0.3	—	—	—	—
	60	60	± 0.0	59.9	- 0.2	—	—	—	—
	100	100	± 0.0	99.5	- 0.5	—	—	—	—
300	100	100	± 0.0	99.6	- 0.5	—	—	—	—
	200	200	± 0.0	199.0	- 0.5	—	—	—	—
	300	300	± 0.0	299.6	- 0.7	—	—	—	—
1k	0.3k	0.30k	± 0.0	299	- 0.7	—	—	—	—
	0.6k	0.60k	± 0.0	596	- 0.6	—	—	—	—
	1.0k	1.00k	± 0.0	993	- 0.7	—	—	—	—
2k	1k	1.00k	± 0.0	993	- 0.7	—	—	—	—
	2k	2.00k	± 0.0	1986	- 0.5	—	—	—	—
	3k	3.00k	± 0.0	2.97k	- 0.7	—	—	—	—
10k	3k	3.00k	± 0.0	2.97k	- 0.7	—	—	—	—
	6k	6.00k	± 0.0	5.96k	- 0.7	—	—	—	—
	10k	10.00k	± 0.0	9.93k	- 0.7	—	—	—	—
30k	10k	10.00k	± 0.0	9.93k	- 0.7	—	—	—	—
	30k	30.00k	± 0.0	29.87k	- 0.7	—	—	—	—
	60k	60.00k	± 0.0	59.8k	- 0.7	—	—	—	—
100k	30k	30k	± 0.0	29.8k	- 0.7	—	—	—	—
	60k	60k	± 0.0	59.8k	- 0.7	—	—	—	—
	100k	100k	± 0.0	99.3k	- 0.7	—	—	—	—

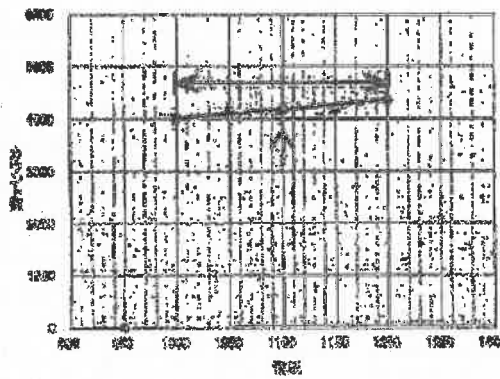
備 考 : アナログ表示 ±0.5%以内(フルスケールに對し)
: デジタル表示 入力値に對して±0.5%以内

形名	TGS-106	製造番号	RL-A0017	検査番号	02
製造番号	KM4992(24E10000)	真 数	g/c		

プラトー線図

<点検>

使用時間 1100

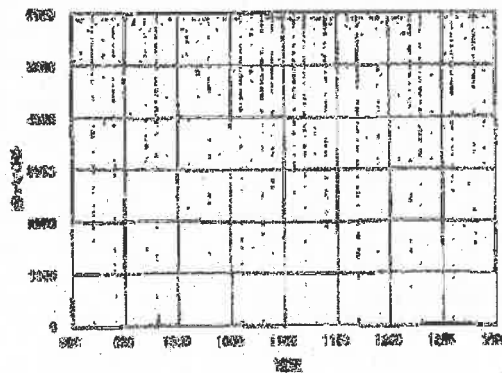


電圧 [V]	計測値 (1分間)
950	9
1000	4015
1050	4158
1100	4165
1150	4189
1200	4368
1250	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—

GM管理番号	1070371530
プラトー長	250 V
プラトー傾斜	4.1%/100V
使用電圧	1100 V

<調整>

使用時間 1100



電圧 [V]	計測値 (1分間)
950	—
1000	—
1050	—
1100	—
1150	—
1200	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—

GM管理番号	—
プラトー長	— V
プラトー傾斜	—%/100V
使用電圧	— V

使用測定器一覧表

測定対象機器	品名	形名	製造番号
		カメラハイメータ	795-135

No.	品名	形名	管理番号	有効期限	備考
1	デジタル・マルチメータ	84401A	003-125	2023/12/04	
2	アナログ オシロスコープ	005-01050	060-453	2023/09/21	
3	経緯測定器	K-215C	072-045	2023/10/10	
4	パーシクスケータ	TK-1053	054-125	2023/07/11	
5	マキユリー クリスタルバルブ	K20-111	045-112	2023/02/02	
6	ストップウォッチ	5055-4000	142-025	2023/05/07	

2KJL7340

校正証明書 Certificate of Calibration

ご依頼者 Customer Name	三洋電機株式会社電力システム研究所 様
品名 Equipment Model	OMサーベイメータ OM Survey Meter
形式 Type	TK30-150
数量 Quantity	1 台 Unit

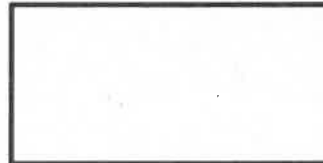
令和5年2月14日に受託いたしました
校正の結果をここに示します
The result of the Calibration with which we were entrusted on
February 14, 2023 is shown here.

校正結果 Calibration Result	別紙の通り Refer to attached sheet
----------------------------	----------------------------------

令和5年2月20日
February 20, 2023

Nippon RayTech Co., Ltd.
Instruments Measuring Center
6-2-11, Oyamada, Inzai-shi, Saitama, Japan
Center Manager: Naoto Miyakuni

02-92-00-0000



校正記録 Calibration Result

校正器名 Equipment Model	GMサーベイメータ GM Survey Meter	校正日 Calibration date	令和6年2月15日 February 15, 2025
形式 Type	TGS-130	製造者 Manufacturer	日立アロカメイトリ株式会社 Hitachi Aloka Meitron Ltd.
製造番号 Serial Number	RD4398(24210029)	校正者名 Operator	
検出器 Detector	参照標準 Reference Standard	10×15cm, ⁶⁰ Co	
	β線表面放射率(mic ² /hr) β-Ray Surface Radiation Rate	46740	
	指示値(mic ²) Indication	2.97k	
	真値(mic ²) Reference	75.6	
	正誤率(mic ²) Rel. Indication	2.99%	
	検出器の入射面面積(cm ²) Sensitive Area of the Detector	19.5	
	検器感度(mic ²) Instrument Sensitivity	47.3	
計算事項 Calculation	検出率(mic ²) = (正誤率(mic ²) / 正誤率(mic ²) × 100) × (検出器の入射面面積) × 100 検算式(mic ² /cm ² ·hr) = 1/60 × (検器感度 / 100) × (検出器の入射面面積) × 100 Instrument Sensitivity (Rel. Indication) × (β-Ray Surface Radiation Rate) × (Sensitive Area of the Detector) × 100 Conversion Ratio (Rel. Indication) × 1/60 × (Instrument Sensitivity) × (Sensitive Area of the Detector) × 100 検器感度(mic ²) = 3.66 × 10 ⁴ Conversion Ratio (Rel. Indication) × 1/60 × (Instrument Sensitivity) × (Sensitive Area of the Detector) × 100 検器感度(mic ²) = 3.66 × 10 ⁴		
	なお、検算式は下記の校正条件の場合の適用できます。条件が異なる場合には適用できませんので十分注意下さい。 In addition, conversion constant is applicable to the case in the following calibration conditions. Please apply the same conditions of use.		
	校正条件(Calibration Conditions) 1. 校正方法(Calibration method) JE Z 4320-0204(放射線測定器サーベイメータ)に準じた方法 This test method complies with JE Z 4320-0204 (Portable Radiation Detection Counter and Monitor) Usage Method (Use radiation source: ⁶⁰ Co(10×15)) 検出器と参照標準の間隔(Distance Between the Detector Source and a Detector) 0.5cm		
	2. 検器感度(mic ²) 1.0 JE Z 4320-0204に準じて、Based on JE Z 4320-0204 3. 参照標準(Reference Standard) HI-TRISO校正標準(HI-CO Calibration Certificate) No.015013, 12K14-E-06501 4. 校正器具(Calibration Kit)		

校正の体系 Calibration System

